

# Rotary Club of Satte Chuo



2020-2021年度RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く  
Rotary Opens Opportunities



会長 菅野 秀光

事務所；埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内

幹事 昆 裕司

〒340-0156 TEL&amp;FAX 0480-44-0056

例会日；毎週火曜日19：30～20：30

例会場；G-Five 1階会議室

国際ロータリー会長

第2770地区 ガバナー

2020年10月27日 火曜日

ホルガー・クナーク氏(ドイツ)

中里公造氏(川口モーニングRC)

第1034回例会

No.10

[開会]

[開会点鐘]

[国歌・ロータリーソング斉唱]

君が代／奉仕の理想

[ロータリーの目的唱和]

[四つのテスト唱和]

[ビジター紹介]

国際ロータリー

第2770地区ガバナー

中里公造様



第7グループガバナー補佐

伊藤敦彦様



第2770地区副幹事

鈴木靖則様



米山記念奨学生

シュレスタ・サファル君



[会長挨拶] 菅野 秀光会長

皆さんこんばんは。本日はガバナーの中里様、カバナー補佐 伊藤様、地区副幹事鈴木様 本日はお越しいただきありがとうございます。心より歓迎申し上げます。それから。会員の皆様、今年度において初めてこのような人数で例会を開会でき大変うれしく思っ



ています。

さて、今年の会長となるにあたり、当初いろいろプログラムを考えましたが 残念ながらほとんど中止となり、非常に無念に思っています。したがって今年は、会長方針に述べたように、一年間退会者を出さず、コロナ禍を乗り切り、例会を続けることを最大の目標としました。

それと例会場に掲示したように、「この例会場で、30名で例会を」であります。なんとか当クラブの壁である会員 30 名以上を達成したいと思います。どうか皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日はガバナーをお迎えして公式訪問を開催できることを大変嬉しく思います。短い時間ではありますがガバナーと親しくできる機会は少ないので会員の皆さんは、ぜひ本日はいろいろな疑問、質問などをガバナーにお聞きください。最後に先週はガバナー補佐の伊藤様においでいただき、貴重なアドバイスをいただき心より感謝申し上げます。

簡単ではございますがこれをもちまして会長挨拶とさせていただきます。本日は皆様よろしく願いいたします。ありがとうございました



[幹事報告] 昆 裕司幹事

1、地区大会開催方法ご案内と  
ガイドライン

2、2022 年規定審議会

制定案の提出について

3、米山記念奨学部門ニュース 寄付のお願い

4、RI3750 地区インターアクト生の訪韓研修中止

5、例会時における例会場の感染症対策

6、国際奉仕活動に関するご案内(緊急)

7、幸手中央 RC 第 3 代会長谷野 隆彦様ご逝去



[本日の例会] ガバナー公式訪問

ガバナー卓話

第 2770 地区ガバナー 中里公造様

幸手中央ロータリークラブの皆さん、

こんばんは。今年度ガバナーを務めて  
おります川口モーニングクラブの中里でございます。

例年より2ヶ月ほど遅れることになりましたが、先月 9 月

2 日より今年度の公式訪問をスタートいたしました。

幸手中央ロータリークラブさんで 31 クラブ目です。

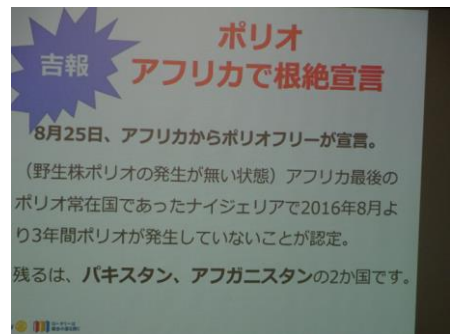


国際ロータリーが取り組む最優先課題のポリオ根絶を  
イメージしたオープニングをご覧いただきました。幸手  
中央クラブさんには以前一度訪問したことがあります。  
また、池田さんをはじめ懐かしい方に久しぶりにお会い  
することができました。2 度目の訪問がまさかガバナー  
として訪問することになるとは夢にも思っていませんで  
した。知り合いの多い中でガバナーとして訪問させてい  
ただけることを大変光栄に思っています。

限られた時間ですので早速資料に基づいて始めさせて  
いただきます。

少し前 8 月 25 日のアフリカでポリオ根絶宣言が出さ

れました。残る  
はパキスタンと  
アフガニスタン  
の2カ国となり  
ました。このニ  
ュースは日本  
の新聞等でも



紹介されていましたが、残念ながらポリオ根絶に大きな  
役割を果たしてきたロータリーのことが一言も記載があ  
りませんでした。多分皆さんもお気づきになったことと思  
います。改めてロータリーの公共イメージ、並びに認知  
度を高めることの重要性を実感いたしました。そういつ  
た意味では、昨年の世界ポリオデーでは、小林直前ガ  
バナーのポリオ根絶に対する熱い思いにより、地区内  
全クラブが何かしらの取り組みをして、地域社会に大き  
なインパクト与えた活動でした。ちなみに小林直前ガバ  
ナーは世界ポリオサバイバーの3人に選ばれました。  
世界中で10名の候補者が出たそうですが、小林さんの  
いろいろな取り組みを踏まえて世界の3人に選ばれ  
たということです。本来ならば、今年度も大きな会場で  
イベントを開催する予定でしたが、残念ながらコロナ禍  
ということで中止になりました。今年度は公共イメージ  
が協力してくれまして、川口駅前と越谷駅前の大きなビ  
ジョンを使ってポリオ関連のニュースを流しております。  
今年度は各クラブを通じてポリオにご協力をお願いしま  
すと案内をしております。ポリオ根絶はいつまでと質問  
されますが、ポリオが無くなるまで行うというのがRI  
の決定事項です。年間を通してポリオ根絶活動に協力  
していただき、寄付もお願いしたいということです。



今年度地区役員は幸手中央からはお二人ですが、来  
年度はもっと多くの地区役員を出向させていただきたい

と思います。

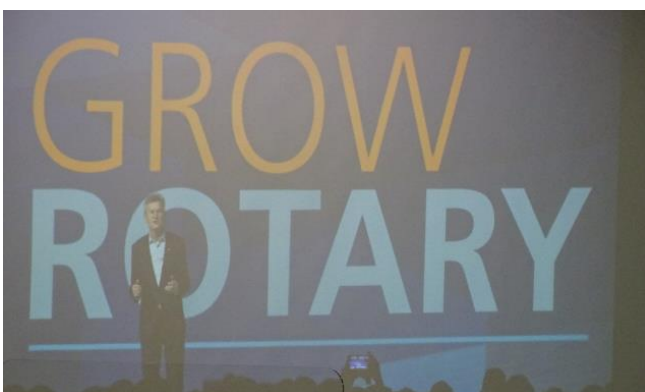


簡単に自己紹介をさせていただきます。

1952 年生まれで先月68歳になりました。私は何よりゴルフが大好きで年間100ラウンドを超えた時もありました。現在、一年半ほどゴルフをやっておりません。封印してしまいました。ガバナーが終わったらまたゴルフを楽しもうかなと思っております。

1989 年に川口モーニングRCに入会し、今年で 32 年目になります。この間、いろいろな地区役員を務めさせていただきました。どれもが非常に素晴らしい経験だったように思っています。

RI 会長ホルガー・クナークさんは同い年です。メガネがトレードマークです。奥さんのスザンヌさんも熱心なロータリアンです。今年1月にアメリカのサンディエゴで開催される国際協議会に参加してきました。第1本会議で発表されたのが今年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」です。扉の色の意味は、ピンクに見える色(クランベリー)はロータリーの指定色で、ローターアクトのシンボルカラーです。いかにクナーク会長がローターアクトに力を入れているかということがお分かりいただけるかと思います。国際協議会におけるクナーク会長の講演のタイトルが、Grow Rotary(成長するロータリー)となっており、これからもロータリーは、時代の変化に合わせて、成長しなければならないと強調されておりました。



また、ロータリーは長年にわたり、時代の変化にしっかり対応してきたからこそ、今のロータリーがあるといわれています。ただし、変わらないもの、変えてはならないものがあります。それは、ロータリー115 年の歴史の中で培ってきた、奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップといった、中核的価値観であります。これは、例会や奉仕活動を通じて、何を優先し、どのような行動をとるのかといった指針として定められたものであり、ロータリーの戦略計画の一環としてRIの理事会で承認されたものです。変えてはならないものは、「ロータリーの目的」、「四つのテスト」。奉仕活動の実践に基づいた分類である 5 大奉仕、奉仕の理念に変わらないものとして当然のことです。ビジョン声明をご覧になっていることと思いますが、ロータリーの現状を踏まえ、これからのロータリーはどうあるべきか。また、どうありたいのかという考え方を元に世界中のロータリアンや元会員、ローターアクト、学友など、その他一般の人々を含め、100 万人以上の皆様の声を参考に作られたものです。当初は、私たちロータリアンだけでしたが、2019 年よりロータリークラブとローターアクトの連合体が国際ロータリーを形成するということになりました。その為に、ロータリークラブの会員、ロータリアン。ローターアクトの会員は、ローターアクトであり、ロータリアンではない。このビジョン声明でロータリーが目指すものは、社会の発展であり、ロータリアンの成長であり、ロータリーの究極の目的・目標である「世界平和」につながります。ビジョン実現に向けて活躍するロータリアンは、世界を変える行動人であり、その実現のために実案された新しい行動計画です。新しい戦略計画は国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成させるために、2019 年 9 月より今後 5 年間の活動の方針を定める 4 の戦略的優先事項の中の行動計画が発表されました。「より多くのインパクトをもたらす」「大きな基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」これらにより、ロータリアン自身がより核的になるということです。重要なことは、国際ロータリーだけでなく、すべての地区、クラブに行動計画は当てはまります。

「世界で良いことをしよう」というロータリー財団の 6 つの重点分野に、7 つ目が加わりました。内容は「環境の保全」です。実際の運用は、来年の 7 月からということで松本ガバナー年度からになります

今年度、ホルガー・クナーク会長からは、「コロナ禍の中、新しい日常に向けてすべてのクラブがオンラインでの例会を実施できる体制を整えてください。ガバナーとして、それを支援する必要があります」というメッセージがありました。同じように、RI 最高経営責任者であるジョン・ヒューコ事務総長からは「オンライン例会、顔を合わせる例会、ハイブリット例会は、これからのロータリーとして必然となるでしょう。」と言われました。また、お二人が口をそろえて言うことは「ロータリーは今、変革の時です。変革の一つとして例会の形態も時代の変化、社会の情勢とともに変化していくことです。」私はこの二人の言葉を受けて、7月3日付けで各クラブの会長さん宛に「地区内すべてのクラブがオンラインの例会が実施できるように体制を整えてください」というメッセージを配信させていただきました。振り返ってみますと、今年3月から6月半ばまで地区内すべてのクラブがほぼ休会になりました。もし、同じようなことが起こったときにオンラインの態勢を整えておくことにより、例会を休会しないですむということになります。そういった意味では幸手中央クラブさんはハイブリッドでしっかり例会をされていますし、例会場内もコロナ対策をされていますし、地区内でも有数のクラブだと思います。現在地区内74クラブのうち40クラブほどがオンラインの態勢を整えています。また、30クラブほどは通常の例会体制にこだわりを持っておられます。今後の公式訪問を通してオンラインの例会実施を引き続き訴えていきたいと思っております。



次に今年度の地区運営方針についてお話させていただきます。

今年度、「新たな機会へのチャレンジと、クラブに活力を」。特に「新たな機会へのチャレンジ」を強調させていただきました。クラブの例会や奉仕活動など、是非新たなことにチャレンジしていただきたいと思っております。このオンライン例会も新たなチャレンジになるかなと思っております。

地区およびクラブのチャレンジ目標として7つ掲げさせていただきました。特に重要と思う2つについて説明させていただきます。

新規奉仕事業へのチャレンジを PETS や地区研修協議会のビデオの中で事業内容の大小は関係なく、新たな事業を行ってほしいと、74 クラブの会長さんに強くお願いをしました。ロータリーは、1year ルールといわれている中で毎年新たな奉仕事業をするというのが、国際ロータリーからも強く求められています。クラブの活性化のためにも必要です。地区内の多くのクラブが継続事業をされています。地域社会にロータリークラブを知らしめている事業も沢山あると思います。クラブによっては複数の継続事業を抱えているために新規事業が出来ないということも見受けられます。もし、継続事業が足かせになって新規の事業が出来ないのであれば、当然既存の事業を見直さなければなりません。時には、継続事業をやめるという決断も重要なことだと思います。

次にクラブのビジョン。戦略計画の確定ということで、クラブの3年後、5年後の方向性を考え、例会場に掲げてください。皆さんで共有して取り組んでいくことがクラブ活性化につながりますし、非常に重要なことだと思います。

今年度の地区の数値目標は、会員数 2700 名以上とさせていただきました。今年7月の会員数は 2415 名でした。達成するには厳しいかもしれません。かつては瞬間的に3988名まで増えたことがありました。それ以降も毎年平均 200 名以上入会しておりますので、数字上では 6000 名から 7000 名いてもおかしくないのですが、残念なことに入会者以上に退会者が出ていますので会員数が減少しております。維持がとても重要であると感じております。ロータリーは例会に出席するということが最も基本的なことです。例会を休んだらメイキャップをする。これは当然のことです。ただし、今年度はコロナ禍の中で出席を強要しないでください。特に高齢の方、持病をお持ちの方にはクラブで配慮してくださいとお願いしております。出席率の規定についてはそれぞれにクラブで取り入れていただきたいと思っております。例えば、クラブ奉仕活動に参加すること、理事会に参加すること、理事会で認めた各種委員会に参加することもメイキャップになりますので、柔軟に対応してほしいと思っております。

寄付についてもお願い致します。皆様のご協力のお陰で全国でも毎年上位にいられます。その中で法人寄付が少ないです。わずか 7 社しかありません。法人寄付は個人寄付に上乗せは出来ませんが、寄付の総額が上がります。ということは、地区で預かる学生の数が増えてくるということに繋がります。ぜひ、法人寄付もご検討をお願い致します。

青少年交換は、今年度 15 名派遣する予定でしたが、コロナ禍で中止となりました。このうち 14 名は来年行きたいということですので派遣に向けて準備をしているところです。

さて、2020 年 10 月 20 日は日本のロータリーにとってどんな意味を持っているのでしょうか？それは、日本のロータリー誕生 100 周年の日です。

クラブはどこでしょうか？東京ロータリークラブです。

ここで、100 年を振り返ってみたいと思います。

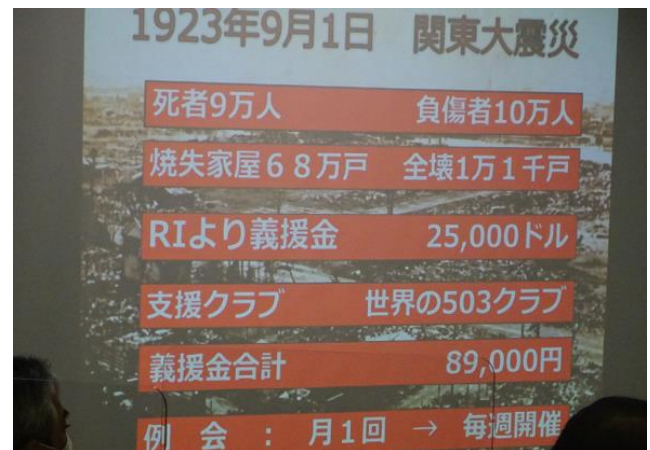
東京ロータリークラブが出来たのが 100 年前です。その当時はどのようなクラブであったのか。今のように会員数がいきなり多かったわけではありません。奉仕活動はどうであったのか。

東京ロータリークラブは 1920 年 10 月 20 日に誕生しました。その 2 年後に大阪ロータリークラブが出来ました。その 2 つとも親クラブは無く、国際ロータリーの直轄のクラブとして誕生いたしました。世界では 855 番目。アジア初はフィリピンのマニラロータリークラブです。東京ロータリークラブの初代会長は米山梅吉さん、初代幹事は福島喜三次さんです。東京ロータリークラブ立ち上げには非常に尽力されましたが、例会には数回しか出られなかったそうです。サラリーマンの宿命で大阪に転勤になったそうですが、2 年後の大阪ロータリークラブでも初代幹事として立ち上げに尽力されました。日本のロ

ータリーの歴史にも名を刻んでいる方です。設立当時の東京ロータリークラブの入会資格は、英語力があること。ホームページには記載はありませんが、米山梅吉記念館に行ったときに説明してくれます。会員は今でいう上場企業のトップ、またはそれに準ずる方たちを会員として選んだそうです。そのため、その後誕生したロータリークラブも同じようなかたちで会員を募っていたそうです。当時は、ごく限られた人たちの社交クラブのようなものでした。RIからの通達は全て英語で書かれていますので英語力が無いとダメだったようです。

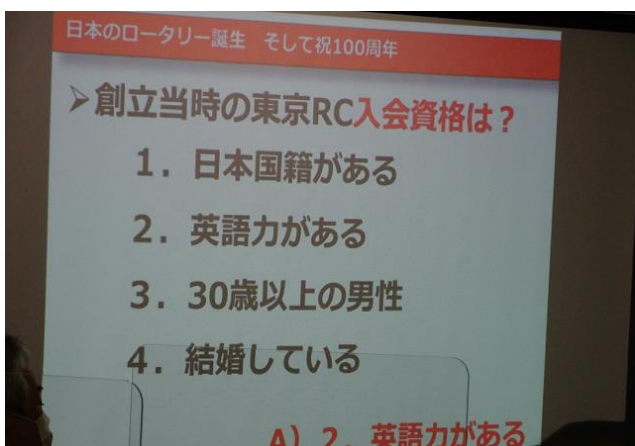
例会は月に一回のみ。それもたびたび休会。社会的な要素のクラブだったのでロータリーを学ぼうとか奉仕活動をしよとかいったものはなかったようです。その中でも職業分類は厳格でした。当時、職業分類表は全て国際ロータリーが管理していました。ということは、国際ロータリーが作った分類表に無い職業の方は入れなかったということです。当時のロータリアンは相当なステータスだったのではないかと想像できます。

関東大震災がある意味ロータリーの歴史でターニングポイントになった出来事でした。東京・横浜を中心に首都圏は壊滅的な被害がでました。15 日後にはRIから

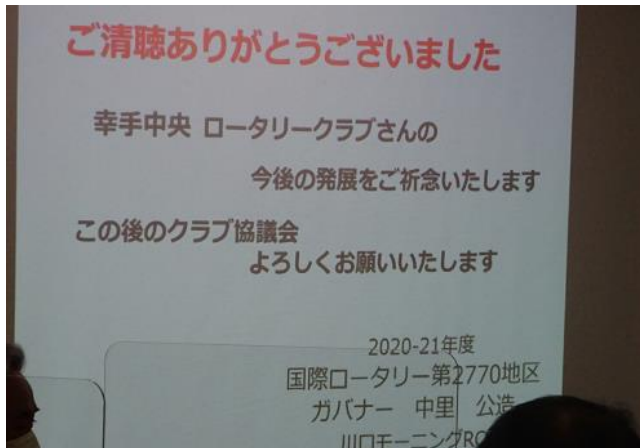


義援金が届きました。また世界の 503 の主だったクラブからも義援金が送られてきました。今の貨幣価値にすると 4 億円から 5 億円とも言われております。この震災以降、ロータリークラブのあり方が変わってきたのではないかと思います。

また、第 1 例会で国旗を高揚し、君が代を斉唱するのはなぜでしょうか？1937 年盧溝橋事件をきっかけにロータリーに対する疑念が持たれるようになりました。いろいろと制約のある時代でしたが、国に忠誠を誓うという証のため、第 1 例会で君が代を斉唱し、国旗を掲揚



することになりました。その後、太平洋戦争に突入しましたので、国際ロータリーを一時期脱会しました。その当時のロータリアンはとても大変だったと思いますが、素晴らしい活動をしているロータリーを守ろうとしていた先達の思いが今に残っていると思います。通常のガバナー公式訪問での話とは少し違うと思いますが、これで今日の卓話を終了させていただきます。有難うございました。



[出席報告]

	会員数	出席免除	出席者数	MU	出席者数計	出席率
本日の例会	23	1	18	5	23	104.55%
前回の例会	23	5	10	2	12	66.67%
前々回の例会	23	5	11	2	13	72.22%

[スマイルボックス報告]

- 印田博秀会員  
中里ガバナーようこそ！伊藤ガバナー補佐ようこそ！  
皆様、お久しぶりです。
- 高木康夫会員  
中里ガバナーようこそ！伊藤ガバナー補佐ようこそ！  
皆様、ご無沙汰します。
- 池田岩夫会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、ようこそいらっ

しゃいました。有り難うございます。

- 鎌田清久会員  
ガバナー、ガバナー補佐、地区副幹事、ご苦労様です。宜しくお願いします。
- 中田盛夫会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、ようこそ。  
本日は宜しくお願いします。
- 石井 明会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、ようこそお越しくださいました。宜しくお願い致します。
- 金子桐絵会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木地区副幹事、ようこそ！どうぞ宜しくお願い致します。
- 小林達郎会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木副幹事、ようこそ。宜しくお願い致します。
- 石橋久充会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木副幹事、サファル君、ようこそ！
- 大橋秀樹会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木副幹事、サファル君、ようこそ！
- 菅野秀光会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木副幹事、ようこそいらっしゃいました。
- 八木泰典会員  
中里ガバナー、こんにちは。
- 昆 裕司会員  
中里ガバナー、伊藤ガバナー補佐、鈴木副幹事、ようこそいらっしゃいました。

本日の合計	¥17,000
本年の合計	¥56,430

[閉会点鐘]

## クラブ協議会

司会進行 菅野秀光会長

### ●会長エレクト

### ●SAA

### ●クラブ管理運営

・会員増強・退会防止委員会

・親睦活動委員会

・出席・奨励委員会

### ★ガバナー講評

エレクトの期間は勉強の期間です。エレクトの期間にいろいろな情報を集めて勉強するかによって会長年度が大きく変わってくると思います。

SAAは例会を円滑に進める大切な役目です。規律を守り楽しい例会になるようにしてください。

クラブ管理運営委員会は、会員増強・親睦・出席奨励・公共イメージまでの委員会が円滑にできているかどうか、当初の計画通り出来ているかどうかを把握する役割があると思います。常に所属する委員会にいろいろな意見を求めたり、進捗状況を確認する大きな役割があると思います。

会員増強・退会防止委員会は、会長・幹事と相談しながら、いかにしてコロナ禍で目標達成のために会員増強が出来るかということを考えることが委員会の責務ではないかと思えます。

親睦活動委員会ですが、ロータリーの場合は奉仕と親睦は車の両輪のようにとっても重要だと思います。出来る範囲の親睦をすることが大切です。全てやめてしまうのではなく、コロナ禍でもできる親睦、オンラインの飲み会も良い企画だと思います。可能な範囲で行う、皆さんから理解を得られる感染対策をしっかりと親睦をやってください。

出席・奨励委員会ですが、コロナ禍の今年度は例会出席及びメーキャップの強要はしないでいただきたい。メーキャップもいろいろな方法がありますのでそのあたりを活用していただきたいと思えます。



### ●公共イメージ委員会

### ●奉仕プロジェクト委員会

・職業奉仕委員会

・社会奉仕委員会

・国際奉仕委員会

### ★ガバナー講評

奉仕プロジェクト委員会は3つの委員会の状況を把握することが重要な役割だと思います。

職業奉仕というと、「ロータリーの金看板」と言われますが、職業奉仕の重要性を理解することが大切です。クラブ内で職業奉仕を勉強する機会を設けてください。

社会奉仕はコロナ禍で活動が出来ていないようですが、その中でもできる範囲のことを考えて活動してほしいと思えます。

国際奉仕ですが、こちらでも活動することが非常に難しくなっております。世界中から集まる国際大会は実際のところ、参加するのが現段階では厳しいと思えます。例年ですと国際大会にたくさん参加してくださいとお願いするのですが、今年度はガバナーとして強くうったえるつもりはありません。



### ●青少年奉仕委員会

・ローターアクト委員会

・青少年交換委員会

・学友管理委員会

### ★ガバナー講評

ローターアクトを提唱していることはとても凄いことだと思います。アクトにクラブの例会にZoomで参加してもらうのも良いと思います。ローターアクトは2022年から人頭分担金を支払うことになっています。大学を基盤としたクラブは5ドル、社会人を基盤としたクラブは8ドルです。我々は69ドル支払っています。30歳までの年齢制限は撤廃されています。日本のローターアクトとRIの目指すローターアクトとは相当なギャップがあるよう

に感じます。

青少年交換は多感な子供たちが外国でホームステイしてお世話になる。ホームステイ先で我が子のように可愛がってもらえるなど国際ロータリーのプログラムとして素晴らしいと思います。

学友管理委員会があることも素晴らしいです。リアルで会うこともできないので、Zoomで学友として参加してもらうことも良いと思います。

●ロータリー財団委員会

●米山記念奨学委員会

★ガバナー講評

ロータリー財団と米山は基本的に寄付を募らなければならない委員会ですが、先ずはその事業を会員の皆さんに伝える必要があります。ロータリー財団で集めた寄付が海外の貧しい子供たちの役に立っています。そのために皆さんに寄付を募っています。意義を理解してもらうツールをMy Rotaryなどから引っ張り出してきて紹介することが大切です。委員長自ら勉強して会員の皆さんに伝えてください。

米山も同じく、米山の事業を説明して理解していただくことが重要です。シュレスタ・サファル君のように優秀な学生を支援してあげることができます。また、日本を理解してくれる人を一人でも多く増やしていくことができるのは米山事業の良いところだと思います。米山事業は人を育てる事業ですが、そういった形で国と国との理解を得られるようになることは素晴らしいことだと思います。米山奨学会では米山の事業を紹介したビデオがありますので是非クラブの例会で観てほしいと思います。

☆伊藤ガバナー補佐所感

皆さん、こんばんは。長時間ご苦労様でした。ガバナーからの有意義なお話があったと思います。是非活かしていただければと思います。



幸手中央さんは家庭集会はやっておられますか？  
家庭集会は、クラブを前向きに進める手段です。コロナだからこそZoomなり、また、リアルで集まってこれからのクラブの在り方、増強の進め方などについて具体的に皆さんで共有していくのが家庭集会の一つだと思っております。

今年のI. M. は、「コロナとクラブ」というテーマで開催する予定です。各クラブがコロナに対してどのように工夫してきたか等についてお聞きしたいと思っています。是非、委員会ごとの家庭集会を行っていただけてクラブについて考えていただけるのも良いと思います。もう少しクラブを進めていただければと思っております。今日はありがとうございました。



例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお願い致します。

クラブ事務所 TEL&Fax 0480-44-0056

公共イメージ委員会

森田 心 中田 盛夫